

## はじめに

地球の表面の約7割を占める広い海－海洋－は、私たちの暮らしに欠かせません。海洋は、魚介類などの食料、海底油田やメタンハイドレートなどのエネルギー資源をもたらすほか、貿易を始めとする輸送や交通のルート、気候を調整する機能など、さまざまな役割を担っています。

皆さんは、海洋にどんなイメージを持っていますか？海水浴や釣りなどのマリレジャーの場所として思い浮かべる方が多いでしょう。海洋は、まだまだ皆さんが知らない魅力と可能性に満ちています。

一方で、平成23年3月に発生した東日本大震災の津波など、海洋由来の自然災害とも闘い続けてきました。例えば、海岸堤防の整備など人命と財産を守るための様々な取組や災害被害の軽減を図るため、災害のメカニズムについて研究を重ね、発生予測などの観測体制の強化を行ってきました。

パンフレット「海の未来－海洋基本計画に基づく政府の取組－」は、平成25年4月に策定された「海洋基本計画」と、海洋基本計画に基づいて実施されている政府の取組について紹介するものです。特に将来、海に関わっていくかもしれない皆さん、さらには一般の方々にも、海に関する様々な取組を広く知ってもらうことを目的にまとめました。

日本では今、海洋の開発、利用、保全などの様々な取組を進めながら、海洋産業と海洋科学技術の発展を目指しています。そのためには、海洋教育による人材育成がとても重要です。ぜひ、皆さんに海洋についての理解と関心を深めてもらいたいと考えています。